

しもむら緑幹事長のご挨拶

墨田区民の皆様、新春いかがお過ごしでしょうか。

私たち墨田区議会みんなの党は、わずか2人の小会派ではありますが、本年も全力で区政の改革に向けてがんばっていききたいと思います。本会派報においては、昨年開催されました墨田区議会の第3回定例会（9月開催）と決算特別委員会（10月19日～11月7日）において井上ノエミ議員が行いました質疑についてご報告いたします。

本年もよろしくお願いいたします。

墨田区議会議員 井上ノエミのご挨拶

昨年9月の定例会では、墨田区の国際化、両国地域の振興策、子どもに優しい墨田区作り、学校でのいじめ問題、小学校の通学路の交通安全対策について山崎区長に質問と提言を行いました。学校でのいじめ問題や学校通学路での交通事故対策は、これまでも区議会で取り上げましたが、子ども達の生命を守るために今後も質問していきたいと思えます。

また、決算特別委員会では、厳しい財政状況にある墨田区の行政改革の徹底や皆様の税金の使い方について6日間にわたって連日質問しました。この会派報では、私の質問内容をご報告しますので、是非ご一読ください。



墨田区の借金問題について

墨田区の財政状況は、23区の中で22番目と悪い方から2番目です。平成24年度の墨田区の一般会計予算は約1000億円ですが、区の借金（区債残高）は312億円もあります。これ以上墨田区の借金を増やさないと区政の運営が最も必要です。井上ノエミは、墨田区の徹底した行政改革を求めています。

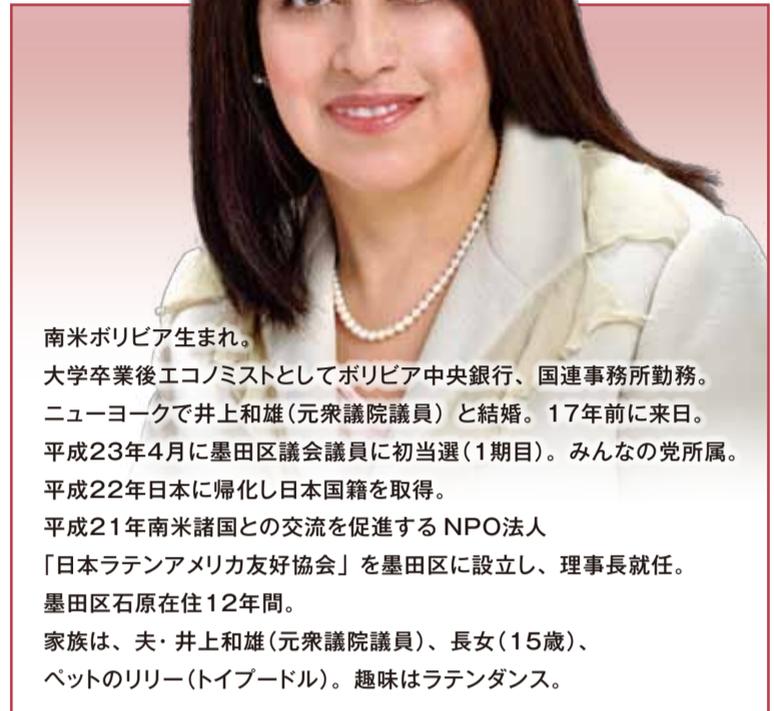
●決算特別委員会（平成24年10月26日）

井上

区民の皆さんの大きな関心は、墨田区はどの位借金があるのかということです。墨田区が借りているお金はいくらでしょうか。また、平成23年度には、特別区債として52億円の借金をしているが、公債費は36億円で、借金額（区債）の方が返すお金（公債費）より多い。このままでは、どんどん借金が増えてしまう。墨田区はいつ借金の返済が終わるのか。

答弁

区債残高は312億円で、それ以外に債務負担公費の予定支出額が200億円である。23年度には学校の改築、新築、駐輪場の建設などの社会資本整備のために起債が返還額より多かった。今後も公債費比率を考慮しながら施設整備などに特別区債を活用する。



南米ボリビア生まれ。  
大学卒業後エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。  
ニューヨークで井上和雄（元衆議院議員）と結婚。17年前に来日。  
平成23年4月に墨田区議会議員に初当選（1期目）。みんなの党所属。  
平成22年日本に帰化し日本国籍を取得。  
平成21年南米諸国との交流を促進するNPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長就任。  
墨田区石原在住12年間。  
家族は、夫・井上和雄（元衆議院議員）、長女（15歳）、ペットのリリー（トイプードル）。趣味はラテンダンス。

井上ノエミ プロフィール

メールアドレス [inouenoemi@gmail.com](mailto:inouenoemi@gmail.com)  
ブログ [みんなの党 井上ノエミ](#)  
twitter [井上ノエミ](#)  
facebook [Noemi Inoue](#)

墨田区議会  
所属委員会等

- 区民文教委員会（常任委員会）
- 新タワー観光対策特別委員会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 墨田区議会国際親善議員連盟副幹事長

私の  
アジェンダ

- 安心して暮らせるスミダ!!
- 未来を育むスミダ!!
- 福祉のスミダ!!
- 国際観光都市スミダ!!

## 墨田区を子ども達に優しい区に

墨田区を子ども達が育ちやすい「子どもに優しい区」にしたいと思います。子ども達の権利を守る、そして、子ども達のための政策を優先的に実施する、子育て支援を充実する、そんな墨田区を作りたいと井上ノエミは区議会で訴えました。

### ●第3回定例会一般質問（平成24年9月12日）

**井上** 今年の夏、生まれ故郷であるボリビアのラパスを訪問した。ラパスでは、市長や市議会議員と会い、墨田区の紹介や交流活動の可能性について話をした。現地のテレビ局や新聞社の取材も受け墨田区の紹介ができた。たまたま、それを見たユニセフの事務所の所長から、ユニセフが世界で展開している「子どもに優しい都市づくり運動」に墨田区も参加してもらいたいという要請を受けた。これは「子どもの権利条約」に基づいて、子ども達の人権を守り、差別しないこと。健康や教育の機会を保障すること。子ども達のための政策を優先的にする等を約束すること。是非、墨田区にもこの運動に参加してもらいたいと思うが、山崎区長の見解を伺う。

**区長** 本区においては**子どもの権利を守る**という観点から、昨年4月に墨田区人権啓発基本計画を策定し、子どもの人権課題につき重点的に取り組むことにした。墨田区基本計画においても、子育て環境の整備を最優先して、**子どもに優しい町づくり**を推進している。本区の地域特性を踏まえて独自の政策を積極的に推進していく所存である。

### ●決算特別委員会（平成24年10月30日）

**井上** 亀沢には、「すみだ子どもサロン」があり子育て中の母親には大変役立っている。子どもを預けたり他のママ達とのネットワークができ、子育てストレス解消にもなる。NPOの運営で比較的経費も掛からない。**子育てに優しい墨田区**にするためには、「すみだ子どもサロン」の様な施設を区内にもっと作るべきと思うがどうか。

**答弁** 区内では2小学校に1箇所という形で児童館、コミュニティー会館を整備しており、子育て広場も同様に展開しているので、新たに新しい施設を作る考えはない。

## いじめ対策に教育委員会は真剣に取り組むべき

学校における「いじめは、大津市での中学生の自殺事件もあり、大きな社会問題となっています。井上ノエミは、「いじめのない学校をつくるために、昨年の9月と11月の本会議でいじめ問題を質問しました。残念ながら、墨田区の教育委員会の対策は効果をあげていません。今年の調査では、小学校では19件、中学校17件の「いじめ」が見つかり、疑われるケースも小学校92件、中学校36件もあります。教育委員会はもっと責任ある態度でいじめ問題に取り組むべきです。今の教育委員会制度も見直す必要があります。

### ●第3回定例会一般質問（平成24年9月12日）

**井上** 今回墨田区が実施した「いじめ」の調査では、たいへん多くの「いじめ」が発見され、たいへんな状況だ。区民は、墨田区の学校には安心して子どもを送れないと思う。今、全国で**教育委員会**が本当に役立っているのか、いじめ対策をまじめにやっているのか、多くの国民が心配している。「いじめ」と疑われるケースについても調査して議会に報告してもらいたい。

**教育長** いじめ対策については、校長会、副校長会、生活指導主任会などを通じて指導している。「いじめの疑い」については、ほとんどが問題は解消している。

### ●決算特別委員会（平成24年11月6日）

**井上** 区民には子どもの教育は大事な問題。**教育委員会を廃止すべき**という意見もある。区長はどの様に考えるか。

**区長** 教育行政の地方分権、自主性、政治的中立という観点から教育行政制度ができ、その趣旨は十分果たしていると思うが、国でもいろいろ議論がされているので、その推移を見守りたい。



ラパス市のルイス・レビヤ市長と

## 国際観光都市すみだと両国地区の開発

両国地区は伝統、風格、江戸情緒を持つ歴史のあるまちです。この地区を、国際観光都市として世界から多くの観光客が集まる場所として再生したい。新しいスカイツリーと歴史・文化の息づく両国。国技館、相撲部屋、「ちゃんこ鍋」料理店、江戸博物館など外国人には魅力的なスポットがたくさんある地区です。世界に有名な両国地区を作るために、井上ノエミはがんばります。

### ●第3回定例会一般質問（平成24年9月12日）

**井上** 両国地区に観光客を集めるために、「相撲」を中心とした振興策を考えてはどうか。「相撲のまち両国」というイメージが見られるような街づくりが、外国人を集めるためには必要。現在は、本場所以外の時期には人が来ない。「ちゃんこ鍋」も積極的に宣伝すれば観光客が食べに両国に来る。相撲で**国際的に有名な町**になれる。

**区長** 現在、両国地区の魅力の底上げを図り、にぎわいのある町づくりを目指すため、両国まち作り**グランドデザイン**の策定を進めている。歴史・文化の視点から、水辺や江戸と並び「相撲」も大切だと思う。また、墨田の郷土料理と言える「ちゃんこなべ」を相撲と結び付けながら、国の内外に発信して**両国地区の観光振興**を図っていきたい。



墨田区の伝統であるお祭り

## 自転車専用レーンの整備を

### ●第3回定例会一般質問（平成24年9月12日）

**井上** 国土交通省は、**自転車専用レーン**について法律を制定することを決めた。自転車専用道路を整備するのは難しいが、道路にペンキを塗って専用レーンを作ることは難しくない。**自転車専用レーン**ができて、道路幅が狭くなればドライバーもスピードを出しにくくなり、**交通安全対策**としても有効だが、どう思うか。

**区長** **自転車専用レーン**の設置によって車道の幅を狭めるので、車のスピード抑制になると考える。ただ、通常の交通の妨げにもなるので、沿線住民の意見も聞きながら警察署と検討していきたい。